

機械化農業

(FARMING MECHANIZATION)

特集

省力で安全な防除に向けて



2019

5

新農林社発行

特集 省力で安全な防除に向けて

—食の安全・安心のために—

“現場力”をITでサポート

Support the "Competence of Organization" of Agricultural Corporations Pursuing Efficiency with the Power of IT

イーサポートリンク(株) 第三営業部 サービス企画課 逸見 幸俊



1 図 農場物語 <https://www.e-supportlink.com/service/farmstory/>

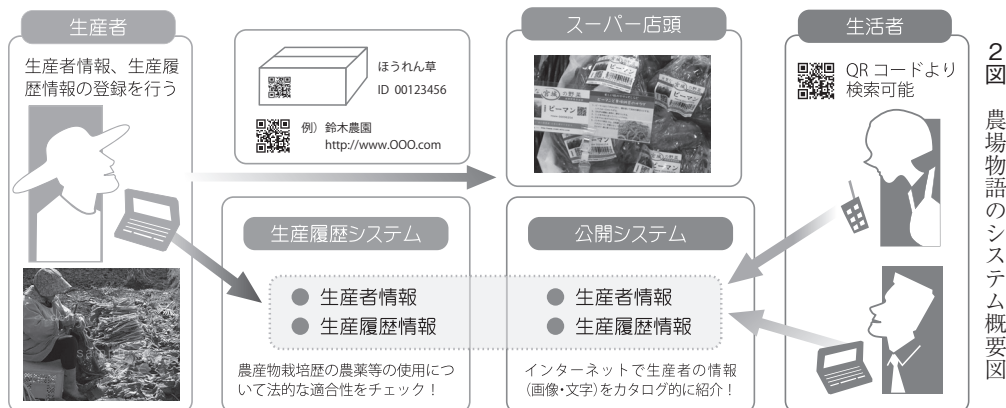
はじめに

農産物の食の安全・安心を確保するためのシステム開発は、次の2つの事件が契機となり加速しました。1つ目は、2002年に発生した中国産冷凍ほうれん草に、基準値を超えるクロロピリホス（農薬）が残留、検出された事件。2つ目は、一部の業者が無登録農薬を輸入、国内で販売し、44都道府県で約270の業者が約4,000戸の農家に10種類の無登録農薬を販売し、農産物の出荷自粛等の事態を招いた事件です。国はこの対策として、農薬取締法の厳罰化やポジティブリスト制度の導入などを行い、違反者には罰則が科せられることになりました。

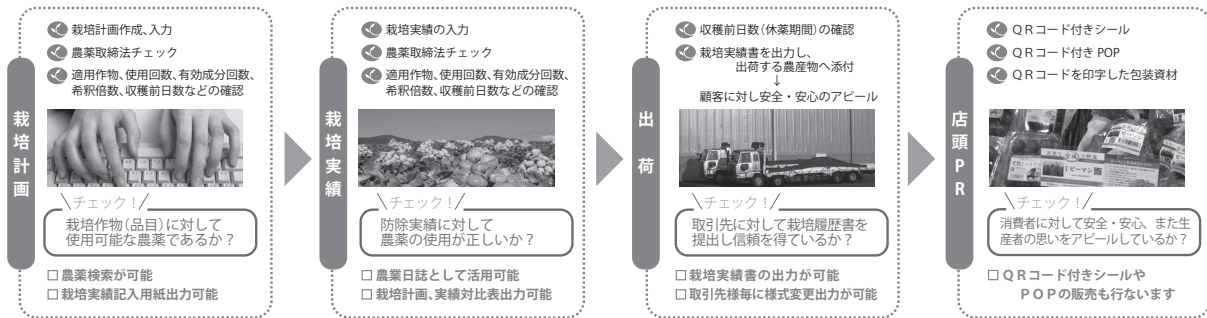
しかし、生産者や流通業者、消費者が簡単にチェックできる方法が、当時はほとんどありません

でした。それは農薬とひと括りにいっても、登録されている農薬数は4,000種類以上、さらに農薬それぞれに散布してよい作物や、効果のある病害虫・雑草、また使用方法が掛け算となった繋がりなどをきちんと判別する必要がありました。個々の生産者が農薬のボトルや袋に書かれている正しい使用方法を確認し、その栽培履歴内容を紙に残しても、その栽培履歴書に書かれた内容が適正であるのかをチェックする方法がなかったため、その仕組みを構築することが急務でした。

そこで当社は、生産者の方が簡単に農薬の適正使用ができ、流通業者、また消費者がチェックできるシステムの構築が必須と考え、2007年9月に生産履歴管理から農薬チェックができる『農場物語』の提供を開始しました（1，2図）。



3図 農薬使用のチェック手順



1. 農薬管理のシステム化は大変

農薬を国内で販売するためには、国への届出が必要で、登録完了後3年間販売する許可がおりる制度があります。この制度で、生産者は品質が保たれた、効果のある農薬を使用することができます。その農薬情報をFAMIC（独立行政法人農林水産消費安全技術センター）が毎週データ提供していますが、約4,000種類の登録農薬を3年後に登録内容の見直しを行い、毎日平均4つの登録内容が更新されています。実はシステム化に際し最も大変な点は、この情報を常にチェックし、システムをメンテナンスすることです。当社の農場物語は提供される最新の農薬登録情報を取得し、その最新情報を基に農産物への使用可否や、使用方法、使用累積上限回数などのチェックを瞬時に自動で行ってい

ます。

2. 農産物の安全・安心を提供

農場物語をリリースした当初は、生産者の方に農産物の安全・安心対策（3図）としてご利用いただいていた。しかし、流通業者、またスーパーや直売所、道の駅の販売担当者の方から、「生産者の方が提出される栽培履歴書の内容チェックに時間が掛かる」との声がありました。そこで、農薬使用の

商品購入の消費者へ、直接生産者の情報をお届け



- ①店頭や出荷ケース、商品等へ同封可能な生産者カードの作成機能を活用
- ②生産者の顔写真や自己紹介で、消費者へアピール
- ③商品のこだわり、生産履歴を開示

4図 情報公開機能

5図 栽培管理機能

農場物語生産組合さん

- 契約状況一覧
- 栽培管理書一覧
- 栽培管理書登録
- 作業記録登録
- メンテナンス
- 農薬検索
- リンク集

栽培管理書詳細

TOP > 栽培管理書一覧 > 栽培管理書詳細

栽培管理書No.	生産者氏名	圃場	作物名	農薬	栽培期間	最終更新日	最終更新者	修正	削除
00030361	米川 一郎	圃場1	ほうれん草	8回	2009/01/01~2009/07/31	2009/03/12 10:45:31	農場物語生産報告		

作業記録の追加

作業日	作業名	使用資材	備考	修正	削除	作業済
2009/01/01	肥料・資材	ベテラン8-2-8 Q20 (g/10a)	ベテラン8-2-8 マンガン0.1 (ほうれん草) (丸石株式会社)			
2009/01/10	播種		トキタ種苗株式会社 048-683-3434			
2009/02/05	農薬	日農アグロスリン乳剤 (1000倍)	日本農薬株式会社 マーケティング部 03-3274-3369			
2009/02/15	農薬	アドマイヤーフロアブル (4000倍)	バイエルクロップサエンス株式会社 TEL0120-575-078			
			シンジェンタジャパン株式会社 広報部 電話:03-6221-1001			
			石原バイオサイエンス株式会社 普及グループ TEL(03)3230-7556 FAX(03)3230-8641			
			△Q06010: 使用回数が上限に達しました。以後の使用は出来ませんのでご注意ください。			
			×Q02010: 希釈倍率が規定の範囲より濃く使用されています。			
			日本曹達株式会社 農薬化学品事業部 TEL03-6245-6178			
			×Q06020: 使用回数が超過しました。この圃場からは出荷出来ません。			
2009/06/30	農薬	アドマイヤーフロアブル (4000倍)				
2009/07/01~	収穫					

農薬の適正使用のアドバイスを表示する色(黒・青・赤)及びメッセージで伝えます！

黒:問題なし
青:以後の農薬使用に注意が必要
赤:出荷出来ない可能性あり



8 図 GAP 認証取得を支援

を、一切する必要がないことも特徴の一つです。

5. GAP認証取得を支援

当社は消費者や取引先から信頼される農場を目指す農業法人のGAP認証取得を支援します（8図）。

GAP認証は、2020年のオリンピック・パラリンピック競技会で選手に提供される食材の調達基準にもなっている農産物の認証制度です。GAPとは農産物の安全を確保し、よりよい農業生産を実現する取り組みです。GAPには栽培から出荷するまでの工程において守るべきルールが定められており、安全で品質のよい農産物の生産を行うため、適切な農薬の使い方や、使用する水の安全性のチェックなど100を超えるチェック項目があります。これらのルールを実践することにより、「生産現場の安全意識」と「適切な農場管理」の実現、そして食の安全や環境保全に取り組む農場として消費者からの信頼を得ることが可能になります。

6. これからの農場物語

当社は創業以来、生鮮流通に特化したソリューション開発に携わってきました。誰よりも生鮮流通特有の運用や商慣習を理解している自負があり、それが私たちの最大の強みだと思っています。当社は単なるシステム会社ではなく、生鮮品流通の経験を基に、生産者へ消費者が求めている情報は何か？特

に生産者に役立つサービスとは何か？との問いの中で常に農場物語を開発し続けてきました。

これまで農業は、狭い圃場を管理する小規模農場が多かったため、属人的な「経験値」による農場運営が多い状況でした。しかし、近年は法人化が進み、それに伴い圃場面積も拡大しており、農業経験値のない従業員の雇用が必然となっています。そのような環境の中、これからの農場経営にはより確実に、そしてより効率的に生産を行う「儲かる農業」への変革が求められています。農場物語では、生産工程をPDCAサイクルで回しながら、生産現場の各メンバーの経験値やノウハウを知的資産として共有し、「儲かる農業」を実現する“現場力”向上をサポートします（9図）。

9 図 農場物語の“現場力”をサポートする8つの機能

